

6月4日、田戸町にある地域共生型福祉施設あっぱで、1周年記念のイベントを行いました。ご協力頂いた皆さま、ご来場頂いた皆さま、誠にありがとうございました。

高浜市社会福祉協議会だより

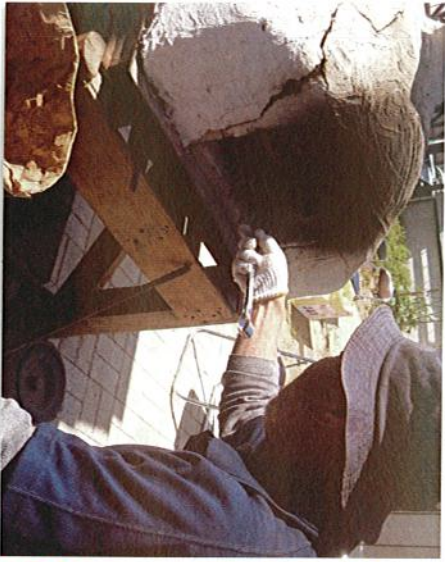
ふくし

理事/白藤会友 井野ゆづり氏



第92号
平成29年7月1日

祝 あっぱ1周年
無事あっぱ1周年を迎える事ができて
白じ貝から地域の皆様を暖かく見守ります
ご理解、ご協力、ご支援、ご愛顧、ご声援
あっぱは、あっぱ1周年記念イベント
を開催いたします。
今後共、あっぱを共によりよく発展させ
たいです。
あっぱ職員一同。



平成
28年度

事業報告

1 高齢者・障がい者・子どもを含む包括的な支援

高浜市において検討が進められている「たかはま版地域包括ケアシステム」の構築について、本会が行っている高齢者、障がい者、子どもに対する、さまざまな支援事業を活かし、その一端を担えるよう努めるということで、子どもから高齢者まで誰もが利用可能な地域共生型福祉施設の設置を行い、平成28年6月より運営を開始しました。

地域共生型福祉施設では、認知症高齢者やその家族を高齢者、障がい者、子どもを含む地域の方々と一緒に支えることを目指し、地域交流スペース等を活用し、様々な交流を行いました。

2 日常生活における困りごと対応力の強化

本会が、高浜市より受託している「生活困窮者自立相談支援事業」、「権利擁護支援センター事業」を通し、窓口にいच्छる生活に課題を抱えた相談者に対し、関係機関等と連携しながら、相談者が日常生活を自らの力で維持できるようにするための支援や、相談者の尊厳や人権が侵されることのないような支援を進めました。

3 ボランティア活動の推進

災害時に災害ボランティアセンターが円滑に運営できるよう、碧海5市の社会福祉協議会と協働で、災害ボランティアコーディネーターを育成すると共に、受講生や関係機関との連絡調整や情報交換ができる体制づくりに努めました。

さらに、ボランティア活動を通じて地域住民同士の助け合い、支えあい活動が展開されていくように、ボランティア養成・研修においても、日常の暮らしに役立ち、地域の見守り支えあいにも結びつく内容を実施しました。

4 子育て支援事業の推進

新たに運営を開始した地域共生型福祉施設において、子育て支援センターの運営を開始しました。子育て支援センターでは、南部保育園と連携しながら子育て中の方が不安や悩みの相談ができ、他の親子と交流し、地域の方々や馴染みの関係を築いて、子育てに楽しく向き合えるようなサポートを行い、地域での子育ての支援に努めました。

また、こども発達センター等各種関係機関との連携を図り、安心して子育てができる環境整備に努めるとともに、地域活動に積極的に関わり、地域と子どもがつながるきっかけを創出してまいりました。

5 障がい者の地域生活支援づくり

障がい者地域自立支援協議会で災害時の課題などについて検討され、災害時の対応の必要性を進言し、新たに「防災部会」が設置されました。また、利用者が増加している子どもに関する障がい福祉サービス事業所が市内で4か所になったこともあり、より円滑な利用に向けて、障がいのある人の家族に対して「事業説明会」を初めて開催しました。このように障がいがある人の生活を支援するための仕組の構築に努めました。

また、企業や商工会、ハローワーク、障がい者就業・生活支援センター、病院などのメンバーで高浜市障がい者就労支援会議を開催し、市内の企業や事業所での雇用促進に向けて、商工会会員事業所に対して雇用についてのアンケート調査やヒアリング調査を実施しました。

6 高齢者への在宅福祉サービスの充実

介護保険制度の改正により、予防給付のうち訪問介護・通所介護が、市町村が地域の実情に応じた取組みへ移行される中、地域共生型福祉施設において、認知症になっても、できる限り住み慣れた地域で在宅と同じように暮らせるよう認知症高齢者の方のグループホームの運営を開始しました。

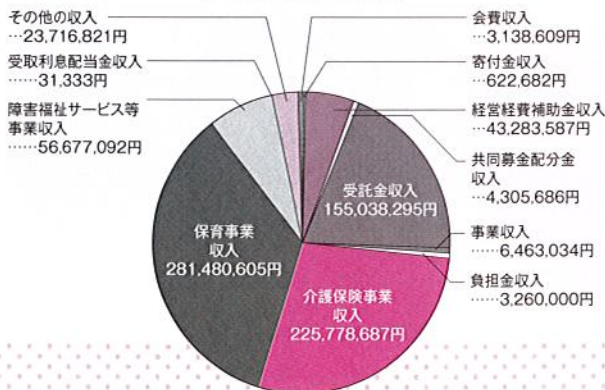
さらに、閉じこもり防止、自立支援、心身の活性化を目的とし、地域の方が楽しみをもって介護予防ができる通いの場を設けて、利用していただきました。

7 法人内連携の強化・人材の育成

法人内の人材育成として、コミュニケーション向上研修、リーダー研修を行い、本会の使命を組織全体、全職員で取り組めるよう体制整備に努めました。

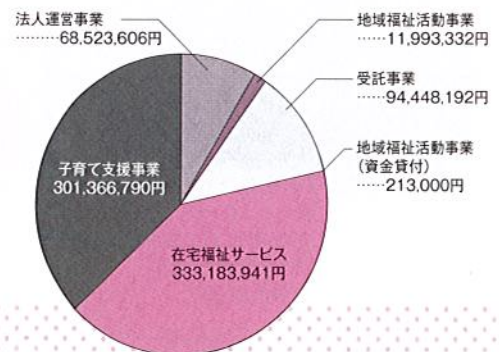
平成28年度 資金収支決算 (事業活動における収支)

収入



803,796,431円

支出



809,728,861円

第8回

WAKU WAKU FESTIVAL in TAKAHAMA 2017

高浜市わくわくフェスティバル

◆開催日 / 11月5日(日) ◆場 所 / 高浜市いきいき広場一帯

今年のテーマは、

もっとつながれ「話・輪・和」

～ つながりの 輪 は∞(無限大)～

わくわくフェスティバルは、様々な福祉の場面で活躍される皆さんが、「もっともっと高浜の福祉を知ってほしい、そして良くしていきたい」という思いを込めて開催します。

今回のテーマは、「つながり」。このテーマを通して、熊本・大分地震、東日本大震災での復興支援において、あらためてその重要性を認識した「人と人とのつながり」をより広げ、もっと多く、深いつながりをこの高浜市に根付かせていけるように実施します。



高桑 雄司

(高浜市社会福祉協議会副会長)

実行委員長のメッセージ

わくわくフェスティバルは、前身のふくしまつりを含め、今年でなんと30回目の開催となります。これも、市民の皆さまをはじめ、福祉団体、社会福祉施設、ボランティア団体等、多くの方々のご協力のおかげです。昨年は、67団体と256名のボランティアの方に参加、ご協力いただきました。

今年もわくわくカフェレストラン等、全員が楽しみながら「つながり」を作れる企画を計画中です。

ぜひ、皆さま、家族、友人をお誘いのうえ、多くのつながりの輪をつくっていきましょう!

出展者説明会開催 / 7月24日(月) 午前10時～ いきいき広場2階ホールにて

わくわくフェスティバルの出展者説明会を行います。出展、ステージ参加を希望される方は、ご参加お願いします。

ボランティア募集 / 活動予定日 11月4日(土)準備、11月5日(日)イベント当日

わくわくフェスティバルは、毎年多くの方に支えられ開催しています。今年もイベントと一緒に盛り上げてくださるボランティアを募集します。



企画の手伝い「わくわくカフェレストラン(仮)」
お料理好きが集まったカフェレストランを開催します。
一緒に手伝ってくださる方を募集します。
あなたの一品を出してみませんか?

その他には、当日「ベルマーク」「使用済み切手」「書き損じはがき」を持ってきていただく収集ボランティア、「バザーの準備」等があります。

活動内容 (一部紹介)



イベントステージの手伝い
当日の司会進行を手伝ってくださる方を募集します。
一緒にステージを盛り上げましょう!
応募締め切り / 7月31日(月)

詳しくは、高浜市わくわくフェスティバル実行委員会事務局へ Tel.52-2002まで

みんなで権利擁護を考えよう!

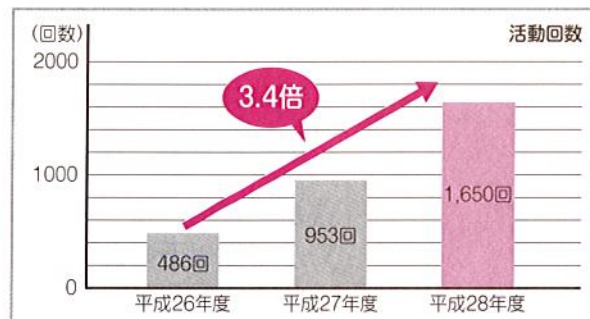
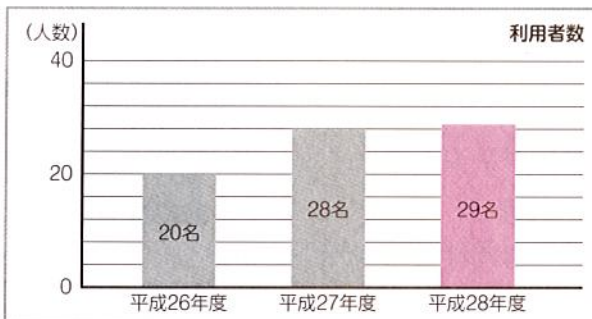
●生活支援員派遣事業

高浜市には「生活支援員派遣事業」という制度があります。

高齢や障がいにより判断力に不安を感じるようになってしまっても、できれば今までと同じように暮らしていきたいと考えること、住み慣れた場所でなじみの方々と一緒に生活したいと考えることは、ごく当たり前のことです。判断力が衰えてきた方が、その人らしく暮らしていくために「生活支援員」がお手伝いをさせていただくのが「生活支援員派遣事業」です。

主な活動内容として、福祉サービスを利用できるように情報提供をしたり、銀行での手続きや支払いなど、日常的な金銭管理を本人と一緒に進めます。

●生活支援員派遣事業利用者数と活動回数の推移



活動回数はこの2年で3.4倍になっており、今後さらに増加が予想されます。

そこで権利擁護支援センターでは、活動の担い手となる市民の方を募集するため、下記の講座を開催します。

平成29年度 生活支援員養成講座

生活支援員とは、認知症や物忘れのある高齢者、知的障がい者・精神障がい者などの方が地域で安心して暮らしていくことができるよう、福祉サービスの利用援助・金銭管理・書類預かりなど日常生活を支援する活動をしていただく方です。

しかし、生活支援員については、まだまだ知られていないのが現状です。

そこで、生活支援員についてもっともっと知っていただき、その活動の担い手となるための講座を開催します。ぜひ、ご参加ください。

日時 平成29年9月8日(金)、15日(金)

両日とも13:30~15:30 (2日間全て受講された方に修了証をお渡しします。)

場所 いきいき広場1階 会議室B

申込期間 平成29年7月3日(月)~平成29年7月31日(月)まで

【講座内容】

初日に、権利擁護支援センターの職員が「権利擁護とは何か?」を説明します。その後、専門職から、生活支援の対象者(判断に不安がある方)の特性を聞き、その方への生活支援員の役割を学びます。

二日目は、生活支援員から支援の現状を聞き、実務を学びます。

※生活支援員として活動する場合は、社会福祉協議会と雇用契約を結び、活動していただきます。

お申込・お問合せは、高浜市社会福祉協議会まで

電話：0566-52-2002 FAX：0566-52-4100 担当 高木

- * お子様の夏休みの自由研究に!
- * 家族での参加、大歓迎!
- * 家族で防災について話し合うきっかけに!

地震などの災害時に役立つ!ポリ袋クッキング講座

～自分のために!家族のために!みんなで助け合える知識を学びましょう!!～

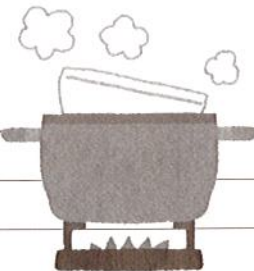
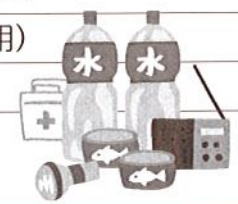
地震などの災害が起こり、ライフラインが止まっても、少しの知識があれば、温かくて栄養のあるものを作ることができます。

この講座は、地震発生0日から支援物資が届くまでの間を想定し、ご家庭によくある食材と、「ポリ袋」と「お湯」で作るお料理を体験していただきます。見たことや聞いたことはあるけれど、『本当においしいの?!』作ったことがない方も、ある方も、一緒に作ってみんなで食べてみませんか。

この知識が、非常時に誰かの役に立つかもしれません!!

ご家庭の備蓄品や非常持出袋についてのお話もあります。

皆さま、お気軽にご参加下さい。

日時	8月27日(日) 9:30~13:00	
場所	いきいき広場 3階 キッキングスタジオ	
対象・定員	高浜市在住、在勤の方 20名程度 ※小学生以下のお子様は、保護者同伴でご参加下さい。	
持ち物	エプロン、三角巾、ふきん1枚、飲み物(水分補給用)	
参加費	無料	
申込方法	窓口、電話、FAX、メールのいずれかで お申込み下さい。※8月18日(金)まで	

行ってきました!

職員レポート

6月13日(火)、地域共生型福祉施設あっぽで6月のお誕生日会が行われました。グループホーム入居者様、ふれあいサロン・子育て支援センターの利用者様、約60名が参加して下さいました。

ゲストには「和太鼓えん」の皆さまが和太鼓の演奏をして下さいました。女性だけのメンバーとのことですが、結成18年目、力強い太鼓の音・掛け声などに、見ている方から「かっこいい」と声があがりました。びっくりして泣き出すお子様もいらっしゃいましたが、演奏が終わるころにはたくさんのアンコールの声もいただき、楽しい時間を一緒に過ごしました。最後には、演奏で使われた太鼓をみんなで触れさせていただき、笑顔の絶えない時間となりました。



高浜市社会福祉協議会 ボランティアひろばセンターてとてとて

電話: 52-9882 FAX: 52-4100 メール: tetotetote@takahama-shakyo.or.jp

6/9 (金)『キッチン☆なんぶ』開催しました!

宅老所のボランティアさんが、旬の食材を活かした料理を教えて下さる『キッチン☆なんぶ』を開催しました。今回は、「オムライス、ナポリタン、コンソメスープ、肉じゃが、ミルク寒天、しそジュース」という、子どもが大好きなメニューを作りました。子どもたちが遊ぶスペースも準備し、おいしいごはんをみんなで楽しく作って食べて、お母さんも子どももリフレッシュできたのではないのでしょうか。

次は11月開催予定です♪

宅老所
今日の献立
vol.23

フライパンが汚れない!!
炊き込みご飯で
オムライス



今回のレシピは...
キッチン☆なんぶ
です。

《作り方》

- ① 野菜はみじん切りにし、ハムも細かく切ります。
- ② 米はといて、水は分量より少なめに入れ、ケチャップと塩コショウを入れ、混ぜます。
- ③ ①を上に乗せて、炊飯します。
- ④ 味が薄ければ、塩で調整をする。
- ⑤ お皿に盛る。



《材料》 4人分

- ・米……………2合
- ・人参……………1/3本
- ・ハム……………3~4枚
- ・玉ねぎ……………1/2個
- ・ケチャップ……………大4
- ・塩コショウ……………適宜

オムレツの作り方

《作り方》

- ① ボウルに卵を割り入れよくほくしてから、牛乳、コンソメ、コショウを入れてよく混ぜる。
- ② フライパンをよく熱し、油を大1/2入れ、卵液の1/4を一度に入れ、大きくかき混ぜ、手前に半分に折り、木の葉型にする。中火で手早くするのがポイント!
- ③ お皿に盛ったご飯の上に乗せて完成。

《材料》 4人分

- ・卵……………8個
- ・牛乳……………大3
- ・コンソメ顆粒……………少々
- ・コショウ……………少々
- ・油……………適量

臨 | 時 | 職 | 員 | 募 | 集

保育士

【勤務地】 高浜南部保育園 (田戸町3-5-26)

【勤務時間】 月~金 8:00~16:00

【時給】 1,020円 (4年目より昇給有)

保育士または保育補助

【勤務地】 高浜南部保育園 (田戸町3-5-26)

【勤務時間】 月~金

①7:30~9:30

②8:00~10:00

③15:30~19:00の間で2時間30分

【時給】 保育士 (資格あり) 1,020円 (4年目より昇給有)

保育補助 (資格なし) 920円





平成29年度 碧海5市 災害ボランティア コーディネーター養成講座

講座のご案内
参加者募集!

「災害ボランティアコーディネーター」とは？

大災害が起こった時、各地から駆けつけるボランティアに対応するため、「災害ボランティアセンター」が開設されます。そこで、被災者の困りごととボランティアを結ぶ調整役となり、災害ボランティアセンターの運営のお手伝いをするのが、「災害ボランティアコーディネーター」です。

地域事情を知っている人がコーディネーターとなることで、支援活動はより円滑に進みます。災害ボランティアセンター運営には、地域の皆さんの力が必要なのです。

そこで、被災時や復興支援時に、地域の困りごとに対応でき、広域で助け合うこともできる体制をめざして、碧海5市では協働で災害ボランティアコーディネーター養成講座を今年度も開催します。

内 容 / 2日間コース ※2日間の内容全てを受講された方に修了証をお渡しします。

7月29日(土) 10:00~16:30 知立市中央公民館 2階 講堂

■講演会：「地域防災力を高めよう～過去の災害から学ぶ～」

講 師：認定NPO法人 レスキューストックヤード 栗田暢之 氏

時 間：10:00~12:00 (知立市中央公民館 2階 講堂)

※こちらは、一般市民向けの公開講演会ですので、どなたでも参加いただけます。

■災害ボランティアセンターの設置・運営について

講 師：知立市協働推進課、碧海5市社会福祉協議会

■各地の災害ボランティアセンターについて

講 師：刈谷防災ボランティア 山下克昭 氏

■災害ボランティアセンターの流れについて学ぶ

■SNSを活用した情報発信について

講 師：NPO法人コミュニティサポーターほっぷ 加藤賀唯 氏

7月30日(日) 10:00~16:30 知立市福祉の里八ツ田 3階

■災害ボランティアセンター模擬演習

講 師：刈谷防災ボランティア 山下克昭 氏

協 力：災害ボランティアコーディネーター養成講座修了生

■ワークショップ&交流会

受講料 / 無料

申込期間 / 7月3日(月)~7月26日(水)まで

問合せ・申込み / 高浜市社会福祉協議会 ボランティアひろばセンターてとてとて
電話 (0566) 52-9882

善意をありがとうございました

栗原一幸、コカ・コーラーストジャパン(株)、(株)サンスタッフ、鈴木、匿名、
(株)豊田自動織機全社職制会、永柳和枝、八幡町・新田町町内会 (敬称略)

広報紙「ふくし」
は財源の一部に赤
い羽根共同募金配
分金を受けて発行
しています。



編集
発行

社会福祉法人 **高浜市社会福祉協議会**

〒444-1334 愛知県高浜市春日町五丁目165番地
TEL : 0566-52-2002 FAX : 0566-52-4100
E-mail : info@takahama-shakyo.or.jp